

平成29年度 仙台藩白老元陣屋資料館友の会研修会

実施日 平成29年10月18日(水)

行程 白老コミセン発 7:50分
登別東IC 8:30分 高速利用
静狩PA 9:40分 休憩
国縫IC 10:00分
せたな町役場着 10:50分
昼食 11:10分~12:00分
せたな町 文化財巡り 12:00分~15:00分

旧檜山町内 丹羽地区 荷卸の松記念樹木
丹羽地区 玉川公園(会津白虎隊玉川遥拝所)
せたな町情報センター
旧瀬棚町内 瀬棚郷土館
日本女医第1号 荻野吟子開業の跡
立象山公園展望台(記念撮影)
せたな町役場発 15:00分



写真左 丹羽五郎翁が明治25年に移住した際、その立派さから休憩所にした。「荷卸の松」というが、樹齢270年ともされるオンコの木であり、現在は北海道指定の記念保護樹木となっている。

写真中 翁の邸宅跡で、現在は玉川公園として管理されている。福島県出身の翁はかの白虎隊が自決した飯盛山に似た地形を見出し、遥拝所を設け、若くして散った白虎隊の御魂を慰めていた。

写真右 旧瀬棚町で活躍した日本女医第1号の荻野吟子の開業地跡。路地の出口なため見落としに注意。道路向かいではせたな町の新たな郷土資料室を含めた複合施設を整備中。

【訪問地概要】

せたな町は旧瀬棚町・大成町・北檜山町が平成17年に合併した日本海岸の町です。現在は新たな郷土資料室を整備中ですが、山合の旧北檜山町、沿岸の旧瀬棚町や大成町それぞれの、地域色豊かな郷土資料が豊富に保存されていました。

今回は旧北檜山町地区に明治中期に移住した丹羽五郎翁縁の地から巡り、旧瀬棚町地区では近代日本の女医第1号となった荻野吟子にまつわる資料や近世場所請負人が所持していた陶磁器類など、貴重な文化財(施設)をたくさん案内していただきました。

海の近くまで山が迫る地勢はどこか白老にも似ていますが、日本海岸だけあって波はより荒々しく、ダイナミックな風景を楽しむことができます。強風を利用した風車が多いことも特徴でしょうか。晴れた日には奥尻島を臨むこともできます。